

平成26年度 第2回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覧用

1 開催日時 平成 26 年 11 月 28 日 (金) 午後 1 時 30 分 開 会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者 (委 員)

北 川 博 巳	会 長	里 尚	副 会 長
中 谷 義 行	委 員 (代 理)	畠 宏 一 郎	委 員
中 澤 秀 明	委 員	足 立 安 夫	委 員
細 見 尚 二	委 員	海 北 祐 一	委 員 (代 理)
小 谷 友 美	委 員 (代 理)	北 村 正 彦	委 員
荻 野 忠 志	委 員	中 川 泰 一	委 員
駒 谷 誠	委 員		

委員 13 名出席

(オブザーバー)

成 田 徹 一

(デマンド型乗合タクシー運営者)

藤 本 泰 男

4 欠席者 矢田貝 勲 委員 石 田 光 委員
長 田 貴 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 報告事項

- ① デマンド交通の状況分析について
- ② 路線バス利用増進の取り組み
- ③ デマンド（予約）型乗合タクシー説明会
- ④ 「てくてく たんば」平成26年10月号の発行について
- ⑤ デマンド（予約）型乗合タクシー 利用者10万人達成式典
- ⑥ 基本協定書の名称及び当事者の変更に伴う再協定について
- ⑦ デマンド(予約)型乗合タクシー運用見直しに係る丹波市議会の一般質問及び回答

(4) 議 事

- ① 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書の再提出について
- ② デマンド（予約）型乗合タクシー旧町間連結場所としての待合場所の設置について

(5) 閉 会

(事務局)

ただいまから、第2回丹波市地域公共交通活性化協議会を開催させて頂きたいと思っております。閉会は15時位を目途にかなというように思っておりますが、どうぞご審議の方、よろしく申し上げます。それではさっそくですが、北川会長の方にマイクをお渡しさせて頂きまして進行の方、よろしくお願い致します。失礼します。

(会長)

こんにちは。もうすぐ12月ということで、早いものでね、1年間あっという間に終わりそうなそんな気配ですけども。今、国土交通省の交通政策のいろいろまた新しい考えを提出するというようなお話がありまして、そういう所も詰めてやっていかないといけないんじゃないかなと感じるんですが。とは言いましても、丹波はデマンドでかなり先取りしてますんで、こういう今やってることに基づいて、まちの姿とか、こういった取り組みに対する新たなこともまだ考えなきゃいけない所もあるようですので、今日もいろいろ意見交換しながら、最終的にまとめ上げていきたいと思っております。

それではですね、報告事項、最初の所で7点ございます。まず報告頂いて、確認してもらいたいと思っております。それでは、説明を前川さんよろしくお願い致します。

(事務局)

はい。事務局の前川でございます。どうぞ、よろしく申し上げます。座って説明させて頂きます。まず、報告事項の1番ですけども、デマンド交通の状況分析ということで、まず、お手元の資料の「別紙1」でございます。今年度の登録状況なんですけども、登録者の数なんですけども、ここに11月14日現在であげております。各地域毎にあげております。内訳と致しましては新規登録が131名なんですけども、死亡された方と転出等された方がございまして、人数はプラス3名となっております。年度別にはその下の段に掲げております通りでございます。続きまして、運行状況なんですけども、「別紙2」の11ページの資料につけておりますが、最初のほうはとばさせて頂きまして、11分の11というページを、お聞き頂きたいと思っております。それを見て頂ければ分かるんですけども、右下に延べ利用者数と運行日数、1日平均人数、200人以上の日数という風にあげさせて頂いております。それで26年度をご覧いただきますと、延べ利用者数で本年度20,537人で、一日平均169.7人と去年を10人以上上回っていることとなっております。200人以上の日数におきましても現時点で21日となっておりますので、去年1年間の15日を大きく超えているという所でございます。続きまして、「別紙3」なんですけども、デマンドの月別1日平均別延べ利用者数ということで、「別紙3」に掲げさせて頂いております。これの26年度を下のグラフでご覧いただきたく、紫色になるんですけども、ありがたいことに4月から11月まで毎月前年を上回る数字となっております。11月が今平均では一番多いんですけども、これは11月14日現在なので、昨日の時点では若干179人くらいに落ちておりますけども、それでも前年度の11月よりも多くなっております。以上が1番のデマンドの分析状況でございます。

続きまして2番の路線バス利用増進の取り組みということで、①番、バス停200m圏内宣伝活動を今年も続けております。例年でしたら自転車に乗って職員等でポスティングをしておったんですけども、今年から、各自治会長を通じて、市の広報誌を配布しているんですけども、それに合わせてチラシと時刻表を各戸に配布させて頂きました。配布させて頂いたのはここに上げております、佐治から柏原病院までと野瀬から歌道谷、坂尻から谷川駅までのバス停のある自治会の全ての世帯にお配りさせて頂きました。内容につきましては1枚めくって頂きまして、「別紙4」に付けておりますチラシと、時刻表と一緒に配布致しております。これは一番目に、バス停周辺(荒神町・上町・本町・小倉自治会)と書いておるんですけども、

ここがそれぞれバス停のある自治会の名前に代わって、それと後、下の方に佐治からゆめタウンまで 660 円とか書いてございますが、ここを他の自治会のバス停からゆめタウン・コープであったり、大塚病院であったり、柏原病院であったり、主な所までのバスの運賃を書かせて頂いております。それでこの中で一番目の発行元は丹波市地域公共交通活性化協議会ということで、この文を市民の方にお配りさせて頂いております。

次に②番の路線バスの車内装飾なんですけども、これも例年というか去年から始めたんですけども、今年も夏、秋と路線バスにポスターとシールを貼らせて頂いて、夏は花火のバージョン、秋はコスモスのバージョン、そして今度、冬なんですけども雪のバージョンで、来週の 5 日に秋から冬に変更を致します。これも職員等でグリーンバスさんにご無理を言って、空いてる時間にバスの中で貼らせて頂いております。

次に 3 番目にデマンド（予約）型乗合タクシーの説明会ということで、「別紙 5」をご覧ください。本年度各自治会を回りまして、高齢者の方がお集まりになられる、いきいきサロンといった所なんですけども、社協さんの方にご無理を言いまして、社協さんの方から、連絡先といついつこういういきいきサロンがあるということをお教えいただきまして、7 月 10 日からそれぞれ回らせて頂きました。ただ、一番下上げております、山南町野坂の 12 月 14 日なんですけども、選挙が入りましてこれは延期させて頂きました。あと今日社協の事務局長さんもいらっしゃるんですけども、社協の事業所の管理者・各支所長さんの会に、私が出席させて頂きましてデマンドの説明をさせて頂いております。デマンド以外に路線バス、それから、タクシー等のご利用についても、この「てくてくたんば」を配布させて頂きまして、合わせて丹波市の公共交通を使ってくださいというような、説明をさせて頂きました。

次に今言いました 4 番目なんですけども、お手元の別冊でしております黄色い「てくてくたんば」を本年度 10 月にも発行致しました。これは神姫グリーンバスさんで一部ダイヤの変更がございまして、あと J R の料金を 3 月の発行時点で載せていなかったの、この分を載せたり若干訂正したものの、1 枚めくっていただきますと、神姫グリーンバスさんの路線が赤で書いてあるんですけども、これは青垣で住民センターから佐治のバス停まで、今まで回送していたのが行けるようになりましたので、その分を変更しております。またお目通ししていただきたいと思っております。

次に 5 番目なんですけども、このデマンド（予約）型乗合タクシーが、10 月 20 日で今年度 10 万人に達しました。それで、10 万人達成式典を行うということで、会長さん、副会長さんそれぞれ、ご相談させて頂きまして、内容等ご相談させて頂いて決めさせて頂きました。会長さんと丹波市長の名前で感謝状等を贈らせて頂いたんですけども、会長さん、どうしてもその日都合が悪くて、副会長の里さんに感謝状の贈呈をお願い致しました。その時の写真等が「別紙 6」でございます。11 月 3 日に丹波の森公苑で行われた GOGO フェスタのステージで、市長から 10 万人目のご利用者の●●様へ、利用回数券ということでお渡しさせて頂いたのと、あと、里副会長から最多利用者 858 回ご利用頂きました●●●●さんへ、同じく回数券をお渡し致しました。その他、副賞といたしまして、丹波市の共通商品券をそれぞれ 3000 円分をお渡し致しました。これは活性化協議会から購入したものでございます。あと、感謝状ということで、これまで、このデマンドシステムの方の運営を行って頂いております商工会長さんと、それから、デマンドタクシーの運行を、今まで無事故無違反で交通安全に大変気をつけて頂いて運転頂いております、タクシー協会丹波支部の●●●●様の方へ、市長から感謝状を贈呈致しました。以上が 10 万人達成の記念式典でございます。

次に次第を 1 枚めくって頂きまして、これもご報告になるんですけども、基本協定書の名称及び当事者の変更に伴う再協定ということを書いておるんですけども、このデマンドを始めるに当たりまして、当事者の変更という所、4 つ目の点の所なんですけども、当事者の変更という所で甲乙丙と立会人が活性化協議会の会長で、こういうメンバーで協定を結んでおりました。これはシステムの構築に関するものとシス

テムの運行に関する二つの協定を結んでおったんですけども、これを甲：社団法人兵庫県タクシー協会丹波タクシー部会という所と協定を結んでおったんですが、今回 11 月にですね、失礼しました 10 月にですね、一般社団法人兵庫県タクシー協会の中に丹波市デマンド会というのを作って頂きました。なので丹波タクシー部会から丹波市デマンド会へ名称を変えるということで、まず代表者も今日ご出席頂いている足立安夫様から足立利昌様に変更になったということで、そこを訂正致しました。そこを変えただけなんですけども、合わせまして、名前を、まだデマンドが出来る前に協定を結んでおりましたもので、丹波市新交通システム構築に関する協定書というものを、分かりやすいように、丹波市デマンド（予約）型乗合タクシーシステム構築、同じく丹波市デマンド（予約）型乗合タクシーシステム運行に変更をさせていただきました。

次に 7 番目でございます。デマンド（予約）型乗合タクシー運用見直しに係る丹波市議会の一般質問及び回答ということで、これはですね、前回の議会、6 月議会で市議会議員さんの方から、一般質問が出ました。その中で、今、木曜日を運休としておるんですけども、木曜日の運行についてと、それから今 1 日 7 便走っておるんですけども、3 時便以降の運行、それから旧町間連結場所としての待合場所の設置、それと旧 3 町に亘る利用の場合の料金の見直し、この 4 点について質問がございました。その中で市長なり、建設部長なりが回答した訳なんですけども、活性化協議会の会長とも相談させて頂きながら、回答させて頂いたものでございますが、一つ目の木曜日の運行については、ここに回答を書いております通り、市内の診療所の 87% が全日又は午後が休診となっており、利用は少ないと考えられることから運行はしない、今の所まだ運行はしないというような方向で回答を致しました。3 時便以降の運行増便につきましても、平成 25 年度における 3 時便の利用率は 7.1% となっており、現時点での増便は考えていない、という回答をさせて頂いております。そして 3 番目なんですけど、旧町間の連結場所としての待合場所の設置の要望でございますが、これは回答を保留させて頂いて、今回のこの協議会で協議するという事で回答させて頂きました。これは協議事項のところで掲げておりますので、その協議事項の所でご協議頂きたいと思いません。次 4 番目に、旧 3 町に亘る利用の場合の料金の見直しでございますが、これは市の持ち出しが増えることと、民業圧迫、その料金 3 町に亘る 900 円を安くしようというような話だったんですけども、これはタクシーとかバスとかと比べますと、あまりすると民業圧迫になるということも含めまして、見直しはしないという回答を致しております。以上で報告事項の説明を終わらせて頂きます。

（会長）

はい。有難うございました。事務局の報告を聞かせて頂きますと、より良い交通システムとして、デマンド、バスでございます。どうでしょう。今回報告事項としていくつかありましたが、まず最初お気づきのところがあれば、ありますか。よろしいですか。はい、ではまず一つ一つをもう一度再確認して進めて行きたいと思えます。デマンドの運行登録者としてはこの所大分浸透してきたのかなというところですね。最初は 8000 人くらいだったと思うんですけど、それが 9,724 人、4,873 世帯になっているということですね。それから、新しい登録者が 131 人に対して、お亡くなりになられた方が 125 人ということで、前のデータなんかでもそうなんですけど、例えば、意外とお亡くなりになられた方が、直前までデマンドでどこかへ行かれてたとか、すごく大事だと思うんですけど。ちょっと確認ですが、そういうのってわかるんですかね。

（事務局）

はい、わかります。今、ちょっと手元に資料がないんですけども。

(会長)

やっぱり、非常に元気な今の社会を作り上げているんじゃないかとね。非常にいい話なんじゃないかと思います。今の所、こういうのもちょっと確認なんですけども、実利用者は何人くらいですかね。

(事務局)

はい、わかります。

(会長)

まず、あの、「別紙」について何かありますか。続いては「別紙2」の方はですね、年間の利用者ということでもかなり増えてきてますね。それであの最後の所で、1日平均170人ぐらいになってきているという話と、200人以上の日数が21日で、イメージを確認していきたいんですが、実際に運行されているタクシー協会とかその辺のあたりになると、1日平均170人というのは、1輛1台となるとどんな感じになるのか、現在この集計の仕方だと、いつもどおり午後便が結構少なくて9時便が一番多いとなってるんですが、その点、現場っぽい話をお聞きしたいんですが。その辺どうですかね。

(事務局)

あの、1日200人なので、例えば11月14日、上の表の1番下にあるんですけども、一番多い時で先程会長が言われたように、58人というのがございます。ただこの58人というのは13台で58人でございますので1台に平均すると、そんなにきゅうきゅうでもない。ただ、車によっては、例えば氷上地域で3台走っていて、まだ車が足りないので柏原が応援にいたりとかいうことはあります。一番忙しい時は。「別紙3」を見て頂きますと、1台当たりの平均を出しているんです。これは26年の11月ですと1台当たり14.1人なんですけども、これは7便、朝の8時便から午後の3時便までの7便で、14.1人平均で運んでいるというふうに考えていただきましたらいいかと思うんですけども。

(会長)

平均の値だけで言うと、結構満員で乗れないという話ではないですね。それは分かりました。

(委員)

時間帯によって忙しい時はあるけど、なんでやということがわかれば・・・

(会長)

その辺はまだ回しながらちゃんとできてるといことですね。それを超えるとまた考えなきゃいけないかなというところでね。デマンドばっかりに集中せずにバスの方でどうやっていくか、その辺も少し何かマネジメントみたいなことが、ちょっとここまで増えてくると、我々としては考えないといけない。

(事務局)

先程言いました、いきいきサロンとかまわらせて頂いた時は、デマンドよりも、柏原駅から柏原病院に行かれる時は、デマンドご利用されるよりもバスの方が安いとか、あと、お近くで行かれる場合300円なんですけども、タクシーをご利用頂いた時にデマンドは1人300円なんでね。タクシーは1台620円とかなんで、そこは良く考えて、安い方をご利用頂いたらいいですということはいつも言っています。

(会長)

デマンドは午後便が少ないから、かなり濃淡ができましたね、ある意味ね。時間帯の話と、あと地域的にはどうですか。特に氷上が多いとか柏原が多いとか。

(事務局)

あの、若干、市島が少ないかなという感じですね。

(会長)

見守りながら働きかけをしていくということですね。それからやっぱり見てると、年々増えてきそうなところなんで、そういう光景は大事かなというところですね。それから「別紙4」になるとバスの話ですね。今のところ情報を整理してという形なんですけども、便利になって路線バスを利用する方が増えてるんですね。いかがですか、最近の状況としては、このとおり増えてる。

(委員)

目に見えてという感じじゃないですけども、徐々には。

(会長)

乗降調査とか取り組んでいただいていると思いますのでよろしくお願いします。それと今回の別紙にありますようにデマンド説明会もして頂きまして、何かご意見とかそんなのがありましたか、いつもと違う様なことを言われたとか。

(事務局)

やはり、最初は町跨ぎをご希望される方がいらっしゃるんですね。これはやはり、JRなり、路線バスなりをうまく利用してデマンドは町跨ぎではなくて、町跨ぎは基幹交通を利用してほしいと言いますのと、地域の商店街とかお医者さんとかを守ると、そこらへんも活性化させていかなくてはいけないという話をさせて頂きますと、それは大体納得して頂けます。

(会長)

それは重層的に市民の皆様も考えていただいて有難いと思います。10万人の式典は、無事に10万人を超えたので、利用者の方も毎日お使いなので、こういうことで、何とか広がっていきます。それから・・・報告としては、国土交通省に登録の届けをしたということですね。

(事務局)

これは、協議事項の所でご説明させていただきます。

(会長)

協定書が少し変わったということによろしいですね。新交通システムの話と、確かデマンドが定着してきました、こういう名前にとのこと。タクシー協会さんもデマンド部会を作っていただきまして有難うございます。また、いろいろと見直しとか新たな考えとかご提案とか大歓迎しますので、よろしくお願ひしたいと思います。それから、ここまでよろしいですか。まず現状確認ということで。

次はですね、議会の方でご質問があったということでございまして、これ前の会の時にもありましたね。

木曜日の話、一応根拠をね、今回は数字として出していくということだと思います。調べてみると、市内の診療所は結構木曜が休みだったりですね、3時以降も利用率が低いという話なので、むしろ増便よりも、もっと乗ってもらうことを考えなきゃいけないということですね。旧町間の待合場所は、後の協議事項ということで、3町の料金見直しについても、先ほどの町跨ぎの話と同じで、この協議会としては見直しはしないということだと思います。一応この議会への回答自体いかがでしょうか。また後で何かございましたら。次はですね、協議事項ですけども、説明をしていただいて協議を進めていきたと思いますのでよろしく願いいたします。

(事務局)

それでは協議事項の1番の説明をさせていただきます。まず、道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書の再提出についてということで、このデマンドを始めるに当たりまして、一般乗合旅客運送事業の運賃について届け出をしております。その中に本協議会と致しまして、この協議会で協議が調っているということの証明書を出すことになっています。平成22年9月10日付けで、会長名で出させて頂いております。これが「別紙7」でございまして、今回、再提出することなんですけども、神戸運輸管理部の兵庫陸運部さんの方にも相談させて頂きまして、変わった点はどのように出させて頂いたらいいかをご協議させて頂いたところ、もう一度、同じような証明書を出してほしいということを言われましたので、それを「別紙8」に付けております。変わったところは、すみません、あちらこちらいくんですけども、レジュメの方の協議事項の(1)の理由の所に書いておりますけども、運賃の種類、額及び摘要方法では、「別紙8」で言いますと、3番目の運賃の種類、額及び摘要方法でございます。そこで、黄色いマーカーを付けておるんですけども、ここが以前は中学生以上とか小学生及び身体障害者手帳をお持ちの方となっておったところを、システムでは、小学生、中学生という分け方ではなくて年齢でいっております。ですので、そこをより正確にするために、13歳以上という風に中学生のところを書き直して頂いたのと、小学生のところを7歳以上13歳未満という風に書きなおさせて頂きました。もう1点、同じところで、身体障害者手帳のみ掲げておった訳なんですけども、そこに実際の運用では、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方も200円に致しておりますので、そこを付け加えさせて頂きました。あと、無料の所を小学生未満としておった所を7歳未満にしております。それから回数券の発行のところの②番も同じ意味でございます。次に1枚めくって頂きまして、(4)の運行日のところなんですけども、ここも以前は、ただし、毎週木、土、日曜日と祝祭日及び12月から1月3日までという風に休む日を書いておったんですけども、今年からお盆休みをさせて頂きたくようになりましたことと、お正月も1月3日から5日まで運休することになりましたので、そこを現状に合うように変更させて頂いております。同じく一番最後、1枚めくっていただきまして、一番最後の予約の受付日も同じように、お盆と正月5日までお休みさせて頂きたくところを変更して掲げております。これをこの活性化協議会の方から、証明書として提出頂きまして、今後、近畿運輸局長さんの方へ各6タクシー事業者様の方に印鑑を頂きまして、また私、各タクシー会社の方へ回らせて頂くんですけども、変更の届出書を出させて頂きます。その変更の届出書に提出する証明書を、ここで上げさせて頂きまして、ご協議頂きたいと思っております。以上でございます。

(会長)

それでは、この書類につきましていかがですかね。

(委員)

「別紙8」の証明書の日付なんですけど、26でよろしんですね。

(事務局)

26です。すみません。26年の12月に出す予定ですので。

ここだけ、ご訂正お願いします。

(会長)

そのほかのところどうですか。後でいろいろ意見があればと思いますが。この点につきましてはよろしいですね。と言うことで、年齢の要件、割引の要件、それから、お盆休みですね、お正月休みもですね、こういうときはご家族が帰ってこられるから仲良くして頂いて、みんなで車乗っていくのも大事だし、タクシーを使って頂くっていうのも大事だしね。この話はこれで行きましようということでもよろしく願います。それでは、これにつきましては事務局の方で運輸監理部の方へよろしく願います。

それでは、次に2番目の先程言った待合場所の設置についてということで、前回確か話題にはなっただと思うんですけど、よろしく願いたいと思います。

(事務局)

はい。次に2番目の、デマンド予約型乗合タクシーの旧町間連結場所としての待合場所の設置についてということなんですけど、これは先程も申し上げましたとおり、議会の一般質問で、もともと総合病院への乗継ぐ場合の利便性の向上ということと言われた訳なんですけども、例えば、青垣から柏原病院へ行かれる時に、青垣からデマンドに乗られて、途中、氷上町の町境で乗り換えて、今度氷上町で乗って、氷上と柏原の町境で柏原のデマンドに乗って柏原病院に行くという。その待合所を氷上町と青垣町の町境、氷上町と柏原町の町境に待合所を設置したらどうかと。同じことが、市島から柏原までのパターンでも言える訳でして、山南から柏原までのパターンでも山南から柏原の間に待合所と言われた訳なんですけど、それを議会では、この協議会にお諮りすると回答させて頂きました。ただ、市の考え方として基本的なところも若干申し上げておきます。一般質問の回答の中で申し上げておる、それは議員さんから提案頂いたところは、大変、旧町跨いで順番に行くという大変利便性の向上という点で分かるんですけども、待合所を設置すれば、旧町間をスムーズに移動できるというメリットはあるんですけども、時間がかかってしまう。8時便で青垣町から氷上町境まで行く。今度氷上町で乗る場合は9時便で氷上町境から柏原町境まで行く。今度、柏原町境から柏原病院まで行くのには10時便になってしまう。ですので、どうしても3時間かかってしまう。お金も300円、300円、300円の900円になってしまうということになります。となると、路線バスを使ってもら方がスムーズに行けますし、お金も安くつくんですね。で、そういうことを考えると、そういうことと同じことで、市島から柏原までも言えますので、それでしたら、市島のご自宅から市島駅まではデマンドを使って頂いて、そこから今度電車で柏原駅まで行ってもらう。柏原駅から柏原病院まではデマンドをご利用していただいてもいいですけども、料金の安い路線バスを使って頂く。その方がいいのかなということを議会でも若干ご説明をさせて頂きました。その辺をこの活性化協議会は地域公共交通を連携するということが基本であると考えています。ですので、デマンドばかりあまり便利にしても、他の公共交通が廃れては何の意味もないので、基幹交通を守るという意味でも、待合所の設置はどうなのかなと言うことを、若干、市の意見としては述べさせて頂きました。後は他のいい方法があるとか、こういう方法があるとかというのは、ここで十分ご協議頂いたらいいと思うんですけども、そういう所でございます。

(会長)

有難うございました。確認するため、交通体系としてしっかりまとめあげるのが、活性化協議会の役割みたいな所もあって、確かにデマンドで行くと8時に出たら、11時に着くみたいな、そういうのもちよつと変な話だなというのと、やっぱり何回も議論してますけど、町外に出ちゃうとかなりいろんなものに負担感が出てくるというようなことになると困るので、旧町の中でしっかりとあるものでやっていこうというのはありますね。別にそれがいい訳ではなくて、鉄道とかバスとか、そういう役割をしっかり果たしていつてはどうかという話で、交通の役割を、すっきりさせていきましょう、明確にさせていきましょう、というふうなところで、結構こういう話が進んでいるんですね。ということで、一応交通会議のようなこの辺は各お気づきの所から、ご意見を言って頂いたらいいのかなと思います。何かご意見ありますか。

(委員)

路線バスとデマンドと、合わせてご利用される、例えば路線バスの乗車場所が自宅から遠くてですね、どうしてもデマンドを利用して、そして路線バスを利用すると、そういうような利用があるんじゃないかと。もう1点は、現実に氷上町と柏原町の待合所を設けられたら、ご利用される方が相当あるんじゃないかなと思います。その辺、いかがですかね。

(事務局)

はい。おっしゃいました通り、実は今回10万人達成の時に最多利用頂きました●●さんという方は、●●町の方なんですけども、よくご利用頂いてるのは、ご自宅から●●のバス停までデマンドをご利用頂いて、そこから●●町の方までは路線バスでよく行かれています。会長さんがおっしゃったような利用のされ方は増えているし、実際、前回協議会でも、会長さんのほうからお話が出たんですけども、データを見ますと、駅の利用者が増えているということで、JRとデマンドをうまく利用される方も増えているという会長さんの話もあったんですけども。そういう所が出てきていると考えています。もう1点、氷上町と柏原町の町境の件につきましては、今会長がおっしゃいました通り、コープさんの横にアグロ畑さんというのがございます。アグロ畑さんは氷上町で、コープさんは柏原町ということなので、そこはご利用されている方がうまく活用されておられるところがございます。ただ、そこ以外にですね。氷上町と山南町、山南町の方で、説明会に行ったときにもゆめタウンに行きたいという意見がございまして、小野の所にヒラキがあったときは、うまくヒラキを利用されていたんですが、それが無くなったので行けないという意見が出ましたので、今回、柏原病院のことではなくて、その所に待合所というのも出た意見の一つではあると思うんです。待合所がうまく氷上町と柏原町のようにある所はいいんですけども、ない所でバス待合所を作ったらどうかという意見が議会から出たということでございます。

(会長)

個別論だとね、意外と今お話が出たみたいにできたんですけど、全体論として考えたら、確かにどうなんでしょうか。市島から春日へとか、青垣から山南とか、ネットワークが非常に変なことになりますね。逆に私なんかの立場からすると、駅の乗換で、駅の休むところが大事なんじゃないかと、むしろね。旧町というより結節点の中での待合所が大事だよっていう話なんじゃないかと思うんですけど、どうなんでしょうか。実際駅なんかはどうですか。私は柏原とか石生とか、黒井とかその辺の駅は行ったことがあるんですけど、例えば市島駅の待合所状況とか、最近では買い物施設でおなじみの方も多いでしょうから、コープはあったな、ゆめタウンなんかありましたね。その辺のよく行かれてるデマンドなんかでも、買い物施設で待っているところとか、そういうのもどうなんでしょうか。

(事務局)

今、会長おっしゃいました、駅は全て待合室あるんで、待つて頂くことは当然できます。

(会長)

改札の内側か外側かで言うと。

(事務局)

外です。駅舎に待合室ありますんで、それは大丈夫です。あと、ショッピングセンターについてはどこもあると思います。さとうもありますし。はい、ありますね。

(会長)

そういう答の方がむしろ大事なんじゃないですかね。駅なんかは結構遠いですからね。ですからそういうモデルケースみたいなものをご提示するっていうのはどうですかね。こう使われてますよってね。他にご意見ありますか。

(委員)

例えば、青垣から柏原にデマンドを乗り継いで行かれてる方は、どれくらいいらっしゃるんですか。

(事務局)

今のところはないと思います。そういう乗継をされている方っていうのは、私が把握してないだけかもしれないですけど、青垣から氷上町境で降りられて、どこかバス停ならバス停まで歩かれて氷上町なら氷上町のバス停まで歩かれて、そこから今度またデマンドを呼んで、氷上町と柏原町の境の、さっき言いましたアグロ畑まで行って、次またデマンドを呼んで、そこから柏原病院まで行かれてる方はないと思いますね。市島方面でもないと思います。

(委員)

そういう意味でいうと、もともとおっしゃってたデマンドは旧町地域での移動を、あと、広域的な動きはJRであって路線バスという考え方がそうされてるので、そのために利用促進をされているというスタンスなんで、そういう形なのかなという、実際利用があってお声があるんでしたら、そういう気がするんですけど、ちょっとまだ、時期尚早のような気がします。

(会長)

そしたら、乗換えるところと休むところをしっかりと整備していった方がいいんじゃないかと。データを持つてるのがデマンドの特徴なので、そういうご例示を示して頂くというのもいいんじゃないですかね。

(事務局)

待合所がないから使わへんと言われるかもしれないんですけど。

(委員)

議会の方から出まして、結局市民の方の中で、路線バスの所までは徒歩では行けないと不自由だ、遠い

というような方がデマンドバスで乗り継いで行かれるんじゃないかと思うんですけどね。そうでないと、路線バスのバス停が自宅から100mとか200mの所にあれば、ほとんどの人が路線バスをご利用になれますが。そうでない、2キロも、3キロもというようなところで、特に足腰の不自由な方についてはですね、デマンド、あるいは一般タクシー、そういうのを利用せざるをえんような交通事情があるんで、やっぱりそういうことのご意見を、実際に議員さんの方において議会からこういうご意見が出るのと違いますか。

(会長)

確認したいんですけど、デマンドなんかで結構、我々はバスを思い浮かべながら言ってるんですけども、ちゃんと乗り継げてるような仕掛けができてないとかね。例えばバス停の所に連結しているしっかりしたそのようなところがあるとかですかね。例えば青垣の人が、一番、バスを乗り換えるのに、デマンドを使うのはここが便利であるとか、そういう所ができてるかどうかというのは宿題なんじゃないかと。その辺はどうですかね。確かにむずかしいですね。バスの空白地と鉄道の空白地があるのが、非常にややこしいので、やはりバス乗継なんかも、青垣の人からすると不満はあるんですね。氷上の方もですね、もどちらかというところと金銭感覚でいうところがしっかりあるんで、氷上の人はいいけど青垣の人が行くときにはどうやって行きやいいのみたいなのが、一つは、どのバスもどこで乗換をして、それに対してどういう設備を考えていかなきゃいけないかというところが足りないんじゃないかと。どうですかね。

(事務局)

バス停で乗り継げる所というところが足りないというか、やっぱり限られています。バス停でもホンマのバス停しか立っていない所がほとんどなので、やっぱり乗換でしたら、青垣でしたら佐治とか住民センター、氷上町でしたら市役所とかゆめタウンしかないというのが実情なので、その結節点をうまく利用して、こうしたら柏原まで行けますよとか、そういうことをもう少しPRして行く必要があるのかなというのは今の時点では考えております。

(会長)

バス停が近くでも歩いていけない結構80歳以上の人が多くて、デマンド利用者も80歳以上の方でね、歩行困難になると、相当バスに乗る前には、体の部分と心の部分が大分折れてくるんで、やっぱりそういう意味ではデマンドって近くまで来てくれますから、それに乗ってバスのこういうところまでアクセスできますから、そこから行くとすごく早いし、お金も安く済みますというコミュニケーションをとって頂くと非常に乗ってもらいやすいという感覚があるので、あの多分そこは心配なんじゃないかと思うんですよ。特にそういうご意見がなくて、我々はこうだと思ってやっているのに、ご意見を伺うとそこらへんかもしれないですね。そういう所は調査してそういう展開を考えて行くという問題は、そういう所を活性化協議会の中で協議していくという話が一番きれいなんじゃないかと思います。前、200メートル運動をしている時に、その近くの協力頂けるところの中に、ベンチを置くと補助をしますよというのは、あまりうまくいかなかったみたいなんですね。そのへんをちょっと強化するような回答がいいのではないかとというのが私の提案です。

(委員)

私の会社が柏原と氷上町の間にあるんです。だから、会社まで自転車か押し車で来られて、それでデマンドに乗られます。4年経って時期が経っていけば徐々に上手に回れるなど言うことはわかります。石生駅でも、今市島の駅乗ったから石生駅に着きますと。それでデマンドをお願いしますと。上手に乗られ

てるんだなということは感じました。4年ですから、歳いかれた方も上手に乗って行かれているんだなということは感じますけどね。

(会長)

ご提供する側も、やっぱりいろんな所で限界が出てきている。一番逆に均衡が取れているところがあるんじゃないかなと踏んでるんですよ。そういう意味ではね、やっぱり今度は働きかける部分をしっかりとしますというね。さっきの●●さんのお話だと、皆さんよう考えて使ってるやんという話なので、まず使ってもらって、課題と感ずるところまでは、こういうことで我々は考えてるんだけど、●●の中で考えることなんかも設けてくださいと。その代り無理な要求とかやっぱり持たれすぎちゃうとつぶれる場合が多いんですわ。デマンドは特に人気が出ると、逆に補助が薄れて赤字が増えて、乗れば乗るほど赤字が多くなって行くシステムなのが、お話し聞くと分かるんで、やっぱり均衡状態の中で出来ることと、やっぱりまだ出来ないことがありますよということをしっかりこの辺は整理しながら、議論をしなきゃいけないですね。ということで宿題は多分あるんですよ。特にバスを乗り継ぐ時の場所の問題とかね、どういう風にやりゃいいのかということもご相談にのってあげるとかね。そういうところもしっかりやっていかないとね。●●さんの仰るように、足腰が弱ってね 100 メートル歩けない方も結構いらっしゃいますからね。こちら辺がデマンドとしては非常に便利だからお使いになって頂いてますし、そういう意味で役割をしっかりとしながら、デマンドをうまく使っていただいとということですね。

(事務局)

あのちょっと1点だけ。せつかく、●●会長いらっしゃるんで、地元であります生郷地域というのは、片方は春日町と隣接しておりまして、片方が柏原町と接しているというところで、会長はよく自治振興会とかでお話される時に、デマンドで柏原町に行きたいとか、春日町に行きたいとかいうな話はないですか。そういうことはないですか。

(委員)

比較的、私とこは路線バスなり、タクシーが、案外充実している方や思うんです。特にね、JR利用の方が結構遠方に出かける方があってね、そういった方がいろんな所でそういう問い合わせがあったりするんですけど、デマンドを使う話はある程度出てこないですね。言われるように、確かに春日町境がすぐそこ、柏原町境がすぐそこということで、先ほど先生のいろいろご説明のあった提案なんかね、そういった弱者といいますか、福祉的にもやさしい運行というのが大事だと思うんですが、JRが主体的になってね、バスが結構石生駅に行きますと、青垣方面から来るバスとか、柏原へつながっているバスの路線自体が、ということですから。旧町の境というのはあまり意識がない地域じゃないかなと、そういうことやないかと。

(会長)

大体、議論としてはこんな感じですか。

(委員)

この11月2日に、県下全部タクシー会社が寄りまして、この間もデマンドみたいなもので高齢者を守りたいということで会合があったんですけど、丹波市はすごいなと、すごいことやられとると、他のところでは難しいと、でも、見学に来年は行きますと。それと各市町村からも見学の依頼があると思いますとい

うようなことで、来年の10月か11月には県下全部業者が来て、見学をさせてほしいというようなことで、丹波市すごいですなと言うようなことで、県下で丹波市だけらしいですね、これやっとするの。すごいなというようなことを、ごつつ羨ましがられて帰ってきたようなことでございます。以上です。

(事務局)

有難うございます。

(委員)

今の協議事項の中で、今年の話ではないんですけど、再来年から山の日が8月11日になるという予定ですので、外されてお盆の日を決定していただけたらと思います。それと実は私、20年ほど前に丹波市の方に帰ってきました、丹波市の方から鉄道に乗って、神戸や大阪の方に勤務しております。交通機関の方ですね、朝なんかは事情がいいんですけど、帰りがどうしても1時間に1本になるということで大変不便なことなんです。それと、昔は石生駅と市島駅に特急電車が停まっておったんですけど、今は停まらないということで、朝は結構私共みたいなおじさん連中が通ってるんですが、結構帰りの8時とか9時の電車に乗りますと、大学生とか専門学生が、大阪駅や宝塚駅から一緒に電車に乗ってるというときもあります。それと鉄道部の方にも居たことがあるんですけど、中々福知山線の複線化というのは、JRに聞きましても、川代がありまして複線化が出来ないという実態があります。それでまずは鉄道の駅を活性化すれば、バスやタクシー、あるいはデマンド等も活性化できるんじゃないかと思います。実は今年ですね、近畿運輸局の表彰規定の中で、兵庫県の西の方にあります、姫新線というのがありまして、ここがですね、表彰の対象になりました。ここはですね、福知山線と同じようないわゆる過疎化で利用者数が減ってたんですけど、活性化同盟というのが利用促進ということで300万人利用者が増やそうと、年間、21年から比べまして57万人増えた、利用率としては23.9%増えたということになっております。鉄道を活性化をして更に他の交通機関も利用による一つの手かと思えます。丹波市では10年ほど前に市の方から国土交通省の補助金の利用の仕方というものもお勉強になったということも、鉄道部におったときに聞いたことがありますので、それも続けていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(会長)

広義としては役割をしっかりと、それに対する勉強をやるってというのは、根本的に地域計画の役割ですから、それをやってるだけではあるんですけど、そろそろ取り組みをやるとか、結果を求められているんで、やっぱりいろいろ活性化に向けて取り組むというのは一つでございます。それから、足腰の弱ってくるご高齢の人に対するモビリティ、移動性を確保することも必要ですね。それができれば融合できるような形で、ある程度はこういう風な話になってくるとは思います。お話がいっぱいありましたけども、事務局サイドとしては、ご答申内容は大体わかっていただけでしたか。

(事務局)

議会の方は、先程皆さんにいただいた意見をまとめて、はい。

(会長)

どちらかと言うと、こういうのって数値でお示しの方が大事だと思って、特に、見ただけでデマンドがわかって、よくこうだろうと思うんですが、ということに対して質問をして、こっちもわからないから、こうだろうと思えますと、訳の分からん問答になって、だんだん方向がずれてくるのがよくある話なん

で、数字としてこういう状況ですよっていうところを示して頂きたい。引き続き、やっぱり便利に動けることが非常に重要ですので、てくてくたんばなんかも利用してね、今回大分「てくてくたんば」にも、10万人お祝いしましたとか、入れたらいいのかもしれないですね。

(事務局)

その時のトピックを入れるということですね。はい。

(会長)

では、その他の事項のお気づきのところ、よろしいですか。

(委員)

路線バスの関係で、前々回に申しあげました佐治の町内の着発の件で、今回の改正で見せて頂いたら、改正していただいて喜んでおられると思うんですけど、やっぱり、佐治の町の中から着発するというようなことを周知をされることが大事やないかと思うんですけど。

それから運賃の関係で、これはデマンドとの関係で、視覚障がい者の方は付添いの方がおられますね。身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳をお持ちの方も付添いの方があると思うんですがね。そういう方につきましてもある程度配慮をして頂くのと、JRは100キロ以上の場合には半額になるんです。料金が。そういう制度がありますので、その辺の所、予算上の問題もあると思いますしということですが、その辺のご配慮をご検討頂けたらなと思います。

(会長)

またいろんなところを調べて、参考にできるところがあればやっていければと。介添者がいるかないかで、かなり影響を取り除く要因にはなってくるんですね。

その他、よろしいでしょうか。はい、それでは一応、今日は協議としてはこの二つということで、またいろいろとよろしく願います。

その他ということで、事務局の方から何かございますか。

(事務局)

まず、次回の協議会の開催日は3月とさせて頂きたいと思います。日程については会長、副会長とご相談して決めさせて頂きますので、ご了解頂きたいと思います。事務局からはその他、その件1点だけがございます。

(会長)

皆さんから、その他ございますか。最近のお話とかなんでも結構ですが、よろしいですか。それでは閉会ということで、副会長願います。

(委員)

どうも、ご苦労さんでございました。今日は中々つつこんだ、いろんな現実的なお話をたくさん頂戴しまして本当にありがとうございます。あの、デマンドタクシーの資料を見せて頂きますと、右肩上がりという傾向ではあると思いますけども、やはり、もう一つきめ細かい結節点の問題でありますとか、いろいろこれからまだ協議を進めていかないとこもあるような気もいたしました。

いよいよそんなことで、今年度も終わりですけども、来週になったら 12 月、今日はあったかいですが、来週は気温も下がるというような話もございます。師走に入りますと今年は選挙が入ったり、慌ただしい年末を迎えそうで、どうかそれぞれ皆さん方健康に留意されて、それぞれの立場でご活躍頂きますようお願い致します。

以上、会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。気を付けて帰ってください。